



スイカを植えたよ 大石田保育園でスイカの苗の定植

食育の一環として大石田保育園の園児たちがスイカの苗の定植を行いました。7回目となる今回は、佐藤雄介さん(鷹巣)に協力をいただき、農業作業体験を通して、子どもたちに季節感や食を身近に感じてもらうと行われたもので、子どもたちは、元気いっぱい「大きくなあれ」と声を掛けながら、苗に土をかけて定植を行っていました。今後は収穫も予定しています。

今回定植にご協力いただいた▶
佐藤雄介さん(鷹巣)



葉の裏側に産み付けられた▶
ヒメギフチョウの卵

サンスタディ ギフチョウ・ヒメギフチョウ観察会

5月9日(木)に町内の小学校3校の4年生がギフチョウ・ヒメギフチョウの観察を行いました。この観察会は、児童の交流促進と自然保護意識や郷土愛を育むことをねらいとして行われました。川前地区は全国的にも珍しいギフチョウ・ヒメギフチョウの混生地であり、地区民で組織する保護会が長年にわたり、保護活動を行っています。町の学芸員の指導のもと、食草となるコシノカンアオイの葉を1枚1枚丁寧にめくり、ギフチョウの卵を見つけて観察していました。大石田小学校の原田央さんは、「真珠のようにきれいだった」と話していました。



読書に親しんで 工藤真理子さんが本22冊を寄贈

子どもたちに読書に親しんでほしいと、海谷地区の工藤真理子さんから、町立図書館に、小中学生向けの図書22冊を寄贈いただきました。今回寄贈いただいた図書については、6月中旬ごろまで町立図書館入り口付近にブースとして設置しています。大事に活用させていただきます。ご寄贈ありがとうございました。



住み慣れた町をきれいに クリーンアップ大石田(河川清掃)

クリーンアップ大石田(河川清掃)が5月12日(日)の早朝に最上川や丹生川などの河川敷で行われ、町民約400人が参加しました。これは、町衛生組織連合会が毎年実施しているものです。参加者は川沿いを歩きながらビニールや空き缶などのごみを次々に拾い集めていました。約1時間の清掃で回収したごみの量は約530kgに上り、回収したごみの運搬は、大石田町建設業協会にご協力いただきました。大変多くの皆さんにご協力いただき、大変ありがとうございました。



北村山駅伝チームの心一つにたすきをつなぐ姿は、見る人に夢と希望を与えてくれました。選手の皆さん、大変ありがとうございました。

齋藤龍生選手(四日町出身)、 鈴木成琉選手(海谷)、 春の山形を駆け抜ける

第68回山形県縦断駅伝競走大会が4月27日~29日の3日間行われ、2日目の28日(日)には大石田町内を各チームのランナー達が駆け抜けました。

今大会には、当町出身の齋藤龍生選手(陸上自衛隊第20普通科連隊)と鈴木成琉選手(山形中央高等学校2年生)が北村山チームとして出場しました。

齋藤選手は第2区(酒田~黒森)と第14区(尾花沢~村山)、鈴木選手は、第18区(寒河江~大江)のランナーとして快走し、チームは総合順位6位の結果となりました。

また、29日(月)には、JAみちのく村山営農センターにて解団式が行われ、齋藤選手は、「地元大石田を走ることは、ほかの選手にはない特別なパワーをもらうことができた。今年は少し悔いの残る結果となったが、またリベンジしたい」と話していました。

自衛官募集相談員を 海藤房平さんに委嘱

この度、海藤房平さん(佐多町)が、大石田町長と自衛隊山形地方協力本部長の連名で、自衛官募集相談員を委嘱されました。

自衛官募集相談員は、自衛官を志す皆さんの架け橋として情報提供や助言・広報活動を行うもので、防衛意識の普及や、防衛基盤の育成にも貢献する極めて重要な役割を担っていただいています。

なお、任期は令和8年3月31日までの2年間となります。



春の大石田を歩く 新緑のノルディックウォーキング

新緑のノルディックウォーキング教室が5月11日(土)に行われ、町内外から7人が参加し春の大石田町を歩いて楽しみました。ノルディックウォーキングは2本のストックを使って歩くもので、一般的なウォーキングと比べて歩幅が大きくなり、上半身も使うため全身運動になるなど、健康効果が大きい人気のスポーツです。参加者は春らしい陽気の中、虹のプラザをスタートして街中や最上川沿いを歩いて景色を楽しみ、春の大石田を満喫していました。